

シティプロモーション 町の魅力を発信

昨年度開設したシティプロモーション特設サイト「わが街ポータルみよし」を活用し、情報発信や地域活性化につなげます。また「ふるさと大使」の皆さんにはイベントなどで町のPRや芸術文化の発信をしていただきます。



共生社会 多様なあり方を認め合う

町がめざす共生社会について（仮称）共生社会推進宣言を行います。また、新たに「みよし男女共同参画プラン」を策定します。人権の啓発として入間郡市の広域で実施する「人権フェスティバル」を町で開催します。



子どもが自分らしく 幸せ well-being のために

子どもの幸せを第一に「子どもの権利条約」などに取り組みます。「三芳町家庭教育宣言～生命輝く！元気みよしっ子～」をもとに、学校やPTAと連携し「命の授業」を実施します。また「家庭教育学級」で保護者の交流を促進します。



PICKUP 01 子どもの個性を大切に 未来を生きるための教育

国際感覚の育成や質の高い教育を提供



見 児童生徒の学力向上や教職員の指導力向上のため「教育センター」を新設。子どもたちの幸せを第一に考え、オランダ教育に学びながら、研究成果を「総合教育会議」に報告します。また、小中学生の国際感覚を育むため①マレーシアとオランダの大使館による講演会の実施②オランダ親善大使として中学生などを派遣③マレーシアペタリングジャヤ市で実施される「インターナショナルユースリーダーシップキャンプ」への中学生派遣を行います。学校の適正規模・適正配置に関しては、望ましい教育環境の整備に向けて「学校再編等審議会」を設置し「学校再編計画」を策定していきます。

これが今年度の三芳町だ！

主な事業紹介

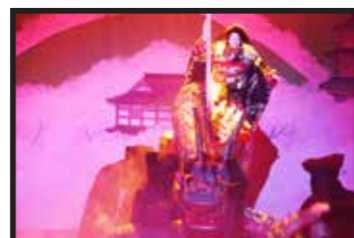
スポーツの振興 スポーツに親しむ

みよし大崎ジュニアハンドボールチームの運営支援を継続します。また、平地林のウォーキングなどで町の魅力の再発見につなげます。設備面では昨年度、運動公園テニスコートを改修。今年度はアリーナの水銀灯をLEDにします。



芸術文化 心を豊かに

多くの人が参加・発表できる「芸術祭」を開催。平地林での演奏会などを行います。また、竹間沢車人形芝居が復活50周年を迎えることから、人形の操り手の募集、記録映像の制作などを実施し、次世代への継承に取り組みます。



よみ愛・読書のまち 豊かな読書活動を

小学生から大人までが好きな本を紹介する「三芳版ビブリオバトル」を開催します。またICタグを活用した自動貸し出し機や蔵書管理効率化検討のため、先進図書館の視察を実施。オンラインでの「読書のまちづくり」をめざします。



PICKUP 02 緑と活力にあふれた 魅力あるまちへ

町の自然環境を未来へ受け継ぎ、魅力を発信



世 世界農業遺産への登録をめざし、現在FAO（国際連合食糧農業機関）へ申請中の「武蔵野の落ち葉堆肥農法」。今年度は農業遺産という共通テーマを持った三芳町の庭園文化を発信していくため、四季を通して庭園を巡るツアー、マスコミ等を招待するファムトリップ、散策パンフレットの作成等を実施します。また、持続可能なまちづくりを推進する「みよしフォレストシティ構想」では、今年度から「緑のネットワークプロジェクト」「アグリプロジェクト」「スーパーシティプロジェクト」の3つのロードマップをもとに、ゼロ・カーボンの実現に向けた施策を進めていきます。

子どもの虐待防止 健やかな成長と幸せを

児童虐待を防止し、子育て家庭を孤立させないため「こども家庭センター」の創設をめざします。子どもたちを取り巻く環境を様々な面からサポートする「誰一人取り残さない」支援体制の整備と強化に向けて準備を進めます。



母子保健と子育て支援 家事や育児をサポート

今年度は、伴走型相談支援と経済的支援を一体的に実施し、切れ目のない子育て支援を進めます。さらに、産前産後の女性に寄り添い、家事や育児などのサポートとして、ドゥーラなどによる家事援助をはじめます。



文化財の保護・保存 町の歴史を受け継ぐ

昨年度に茅葺き屋根の修復を終えた旧島田家住宅。武蔵野の落ち葉堆肥農法の一部を見学できるよう、今年度もさつま苗床の展示を行うとともに、年中行事の再現など直接触れて感じる活動で、町の歴史や文化を紹介します。



学校のトイレ・空調整備 豊かな学校生活を

トイレ改修については三芳東中学校で引き続き改修を実施し、藤久保中学校では改修に向けた設計をします。また、小中学校体育館空調設備の設計をします。上富小学校では外階段と屋上の手摺などの改修を行い、安全性を高めます。



国際交流 文化やスポーツで交流

マレーシアのペタリングジャヤ市で開催される「フォークロアフェスティバル」に参加します。また、マレーシアのフィールドホッケークラブの学生派遣受け入れを、ホッケー場を有する飯能市と連携して実施します。



「共創」のまちづくり 「協働」から「共創」へ

行政区の加入率向上をめざし、各区への補助金を「地域コミュニティ活性化事業支援補助金」にリニューアルします。「第6次総合計画」策定に向けて「協働」から「共創」への新たな展開を、懇談会などで住民の皆さんと考えます。

